

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月2日～3月8日)

2019年3月15日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領が、選挙制度改革は大統領選・議会選後になる旨発言(3/1)
- チャクラバルティ EBRD 総裁の来訪(3/4)
- 2019年から2021年にかけての共和国予算財政プログラムが決定(3/6)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●選挙制度改革は大統領選・議会選後(3/1)

ルカシェンコ大統領は定例会見「大統領との対話大会」において憲法改正を指示したことに言及した際、来る議会選挙及び大統領選挙より前に、選挙法の改正や新憲法の採択が行われることはない旨発言。

(3月1日付ベラパン通信)

●統合機構への参加と欧州の諸機構との協力に関する会合(3/4)

ルカシェンコ大統領の発言要旨：

- ・ベラルーシ・ロシア連合国家という理念を絶対的に遵守し続ける。ただし、両国民及び両国企業が対等であることが基本原則。
- ・主権はベラルーシにとって動かせない重要事項。
- ・ロシアメディアが、あたかも自分(大統領)が受け入れたかのように報じているベラルーシ・ロシア両国共通ルールに関しては、自分にもベラルーシにもそのような提案はなされていない。
- ・現在、ロシアとの貿易額の80%が、ロシア・ルールで決済されている。両国統一ルールについて議論する以前に、対露貿易は全てロシア・ルールで決済することを提案する。
- ・また、ロシアとの統合にベラルーシ人の98%が反対すると自分が言ったかのようにロシアメディアが報じているようだが、自分は、ベラルーシをロシアの一部として組み入れることにベラルーシ人の98%が断固反対と述べた。

・さらに、ルカシェンコは統合プロセスを攻撃しているかのように言われているようだが、ベラルーシの何者も、また自分もそのような攻撃はしていない。ベラルーシが参加し協力している統合機構なくしては、輸出志向型のベラルーシ経済もない。我々にとってこうした統合は死活問題。

(3月4日付大統領公式サイト、ベラパン通信)

【内政】

●ゾロトヴァ TUT.BY 編集長に罰金刑

3月4日、国営ベルタ通信の情報に不正アクセスした廉で起訴されていたインターネットニュースサイト TUT.BY のゾロトヴァ編集長に対し、ミンスク市工場区裁判所は300基本単位(約3,600ドル)の罰金刑の判決を下した。

同日、デジタル欧州安全保障協力機構(OSCE)報道の自由担当代表は、本判決はベラルーシの非政府系メディアに好ましくない影響を及ぼしかねないとの懸念をツイート。

(3月4日付ベラパン通信)

●ミンスク市当局：「意志の日」記念行事を許可せず

3月7日、ミンスク市執行委員会(市役所)は、3月25日の「意志の日」(1918年にベラルーシ人民共和国が独立を宣言した日)の記念行事開催に向けた野党勢力による申請を却下。

(3月7日付ベラパン通信)

【外交】

●ケント米国務次官補の来訪(3/4-5)

4日、マケイ外務大臣との会談において、ベラルーシ側は、2008年から適用されていた在ベラルーシ米
国大使館の員数制限の撤廃を正式に通報。

5日、ポドグルスキー内務第一次官との会談が行われ、同第一次官は、米国の治安機関との連携強化と進展の用意がある旨発言。

またケント国務次官補代理は、4日、ベラルーシ人民
共和国独立の立役者であったアントンとイヴァンの
ルツケヴィチ兄弟を偲ぶため、ヤンカ・クパラ公園を
訪問。

(3月4日、5日付外務省・内務省・米大使館各公式サ
イト)

【治安・軍事】

●マケイ外務大臣:NATOとの対話活性化に意欲

マケイ大臣は、ベラルーシとして北大西洋条約機
構(NATO)とのより活発な連携、特に、ベラルーシと
国境を接する諸国における NATO の活動に関する透
明かつオープンな対話に関心がある旨発言。

(3月5日付ベラパン通信、国営ベルタ通信)

【経済】

【国内経済】

●チャクラバルティ欧州復興開発銀行(EBRD)総裁 の来訪(3月4日)

3月4日、ルカシエンコ大統領はチャクラバルティ
EBRD 総裁と会談。大統領は道路や橋梁の改修、省
エネルギー住宅の建設を通じた国民生活水準の向
上や、起業の促進といった EBRD の支援に謝意を表
明。チャクラバルティ総裁は、2018年における EBRD
からベラルーシへの出資額が約4億ドルに達しており、
数年のうちにベラルーシが EBRD の優先取組国の上
位5位入りする見込みである旨発言。

ルマス首相との会談では、交通部門での協力に関
する運輸交通省とEBRDの連携に関する覚書が署名
された。同文書は幹線国道 M3 号線及び M10 号線、
橋梁の改修の基本方針に関するもの。

マケイ外務大臣との会談では、プロジェクトの進捗
状況や今後の協力分野につき協議された。

(3月4日付大統領・閣僚会議・外務省各公式サイト)

●欧州復興開発銀行(EBRD)がバイオガス発電設備 建設に1,130万ドルを拠出

同資金によって建設予定の2機の発電機は、年間
23.6GWh の環境負荷の少ないエネルギーを生産し、
9,100トンの二酸化炭素を削減できる見込み。本プロ
ジェクトには EBRD を通じて日本政府からも資金が提
供されている。

(3月5日付国営ベルタ通信、ベラパン通信)

●2019年から2021年にかけての共和国予算財政プ ログラム

3月6日付閣僚会議決定第149号により決定された。

概要は以下のとおり:

国内総生産(GDP)成長率(前年比):

2019年102.1%, 2020年102.5%, 2021年102.8%

政策金利:

2019年末10%, 2020年末9.5%, 2021年末9%

物価上昇率(前年比):

2019年105.3%, 2020年105%, 2021年104.5%

対米ドル相場(USD1.00=):

2019年末 BYN2.2681。2020年末 BYN2.3262, 2021
年末 BYN2.3861

原油価格予想(1バレル):

2019年60ドル, 2020年55ドル, 2021年50ドル

GDPに占める債務の割合

:2019年から2021年まで45%

予算の黒字:

2019年 BYN17億, 2020年 BYN14億, 2021年
BYN11.5億

GDPに対する税負担:

2019年から2021年まで26%未満

国営企業に対する補助金額:

毎年10%以上削減

(3月7日付国営ベルタ通信)

●インドとの合弁製薬メーカーの設立

3月7日、グロドノ州スキデリで、ベラルーシ・インド合弁製薬メーカー「ノヴァロク」の開設式が開催。設立者はインドの製薬メーカー「Lok-Beta」とベラルーシ国営「ベルメドプレパラティ」。投資総額は330万ドル。

(3月7日付ベラパン通信)

【対外経済】

●チャボタリ経済次官の韓国訪問(2/23～3/5)

訪韓団にはシエトコ通信・情報化次官、アンドロシユク保健次官、ミレヴィチ「石油化学コンツェルン(ベルネフチェヒム)」副総裁をはじめ、経済省、教育省、産業省傘下企業、国家標準化委員会、情報・ロボット・人工知能関連の団体が参加。

一行は韓国滞在中、産業部門のデジタル化の知見につき学び、相互理解と地検の共有に関する覚書に署名。

(3月5日付経済省発表)

(了)